

二十歳を迎える皆さん、おめでとうございます

八頭町 はたちのつどい

令和6年八頭町はたちのつどいが1月3日(水)に八東体育文化センターで開催され、163人が飛躍を誓い、新たな門出を祝いました。

令和5年度に20歳を迎える方(平成15年4月2日〜平成16年4月1日生まれ)は163人で、そのうち110人が式に出席しました。

会場には、スーツ姿や華やかな振り袖姿に身を包んだ若者が次々と到着し、久しぶりに会う友人と写真を撮り合い、近況報告や思い出話に花を咲かせていました。

式典では、吉田英人町長が「八頭町ではSDGs未来都市認定を契機に、少子高齢化、買い物環境の維持など、地域課題の解決に向けて、SDGsの推進やDXの活用を図りながら、持続可能な地域社会を目指して一歩一歩取り組みを進めている。皆さんには、どのような社会情勢で



あっても、それぞれの立場や環境で夢と希望を持ち続け、若者らしくチャレンジしてほしい。また、ここで生まれ育ち、多くの人に出会い、数々の思い出によって織りなされるふるさと八頭への愛着や縁でつながっている。将来どこで暮らしても、このまちで築いた関係を大切にするとともに、ふるさとへの思いを持ち続け、八頭町の未来について共に考えてほしい」とエールを送りました。

来賓の祝辞に続き、岸本充典さんが代表し、「はたちの決意」で意気込みを語りました。また、町からの記念品として、記念写真・万年筆・木製ボールペンの目録が吉田町長から垣田琴美さんへ贈られました。最後に、細田悠平さんが謝辞を述べました。

式典終了後、はたちのつどい実行委員会主催による「催し会」が行われ、出席した中学校時代の恩師からのメッセージに当時は懐かしむ姿が見られました。また、コードレスクーリーナー、ビーズクッション、町特産品詰め合わせや地元菓子店のお菓子セットなどが当たるお楽しみ抽選会が行われ、新年最初の運試しに会場は大いに盛り上がりました。

20歳を迎える皆さんはそれぞれの決意と思いを胸に、新たな一歩を踏み出します。



はたちの決意



岸本 充典さん

皆様お久しぶりです。先日無事に生後7300日を迎えた岸本です。

この前までは子どもとしてのびのびと生きていた私たちですが、成人という人生の節目を迎え、これからはどうやら大人として生きる責任を負うことになるようです。なんだか堅っ苦しくて嫌ですね。もしかして、今までできていたことも大人になるとできなくなってしまうのでしょうか。

そこで怖くなった私は「大人になると何ができなくなるのか」をchatGPTに聞いてみることにしました。返ってきた答えは「柔軟性の維持」でした。柔軟性の維持、どうやら私たちは物理的

にも硬くなってしまうようです。確かに大人になるにつれ、身体の柔軟性を維持していくことは一つのチャレンジです。しかし、適度な運動やストレッチで身体の健康を維持し、柔軟性を保つことはできるのではないのでしょうか。

また、柔軟性は単に身体だけではなく、心の柔軟性も含まれると思います。新しい考え方や価値観がどんどんうまれていくこの時代。それらに対して開かれた心で接し、それを認め合いながら接していくことで、これからも私たちは成長していくことができるはずです。私たちが大人として輝き、未来へ向けて旅立つためには、柔軟な心と体が大切です。これから僕は、毎日お風呂上がりにストレッチをすることにします。

謝 辞



細田 悠平さん

小・中学生時代を共に過ごした仲間と一緒にこの日を迎えることはこの上ない喜びです。

その喜びを感じることができるのは、ひとえに今日この日に至るまで、家族をはじめ、友人、先生方、地域の皆さんの支えがあったからだと思います。心より感謝申し上げます。

中学校までの15年間というのは、乳幼児期・学童期・思春期といった時期を経て自己を形成していく期間とされています。心身が発達していく過程においては楽しいことばかりではなく、さまざまな問題に直面して不安や葛藤に苛まれることもあ

りました。そのようなとき、周囲の大人は時に厳しく、時に包み込むかのような温かさで私たちに接してくれました。私たちは、本当にあふれるほどの愛情を受けながら成長し、この日を迎えることができました。

現在はそれぞれが別々のコミュニティの中で生活していますが、豊かな自然に恵まれ「人と未来が輝く八頭町」がふるさとであることに変わりはありません。私たちにはどんなときでも応援してくれるかけがえのない人がいるからこそ、失敗を恐れずさまざまなことに挑戦することができます。まだまだ未熟なために至らない点もあり、ご迷惑をおかけすることが多いと思いますが、今後とも温かく見守っていただけると幸いです。

20歳を迎える皆さんが生まれた
2003年(平成15年度)の
主な出来事

八頭町の出来事

- 4月 船岡小学校改築設計に着手
- 4月 八東川水辺プラザ河川公園竣工
- 8月 八頭高ナイン夏の甲子園で大健闘
- 9月 河原インター線住民説明会開催
- 10月 八頭郡民体育大会半世紀の歴史に幕
- 11月 八東体育文化センター落成
- 12月 新町名を公募。「八頭町」に決定

日本・世界の出来事

- 4月 日本郵政公社発足
- 4月 新型肺炎(SARS)各国で猛威
- 4月 米英軍イラク攻撃。フセイン政権崩壊
- 4月 日米欧チーム・ヒトゲノム解読完了
- 7月 水泳世界選手権・北島康介選手が世界新で2冠
- 9月 気象庁「93年以来的の冷夏」を発表
- 10月 中国初の有人宇宙飛行
- 12月 地上デジタル放送一部地域で開始
- 1月 国内で鳥インフルエンザ確認
- 1月 金原ひとみ(20)・綿谷りさ(19)さん芥川賞最年少受賞記録を更新
- 3月 女子プロゴルフ宮里藍選手が18歳8カ月の最年少記録で初優勝
- 3月 九州新幹線開業(新八代、鹿児島中央間)



1

令和6年 八頭町はたちのつどいに出席された皆さん(50音順 [1]~[4])



2

2024



